

真城 KIZUNA  
輝 縄  
中学校だより



発行者  
諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

### 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。 (德育)
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。 (知育)
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。 (体育)

### ○ 二十歳の集いに参列して感じたこと



1月11日(日)に、諫早文化会館にて、「諫早市二十歳の集い」が開催されました。1000人以上の二十歳を迎える若者が集い、諫早文化会館が一杯になりました。今の3年生も、あと5年後にはこのような式典に参加する、もしくは運営に関わるという意識を持ってほしいと考え、二十歳の集いを学校だよりで紹介することにしました。また、5年後や10年後の自分をイメージして、今を過ごしてほしいと願っています。少し時間があるときに、20歳の自分、30歳の自分を想像してほしいと思います。実は、入試の面接練習でも、「将来、どんな大人になりたいですか?」という質問をしています。「備えあれば憂いなし」です。



二十歳の集いの中で、長崎県出身で世界的にも有名な庭園デザイナーの「石原和幸さん」の生け花パフォーマンスが行われました。どのようなパフォーマンスになるのかと楽しみにしていました。「情熱大陸」の音楽とともに、ものすごい勢いで、上の写真のような、「二十歳を祝う生け花」を、約10分で完成させられました。石原さんのものすごい気迫に、約1000人の若者は釘付けになり、完成後には大きな拍手が沸き上がっていました。世界で戦う「本物」のパワーを見せつけられた瞬間でした。

## ○ 石原和幸さんの講演で感じたこと

生け花パフォーマンスの後、二十歳の若者へのメッセージを語ってくださいました。その中で、庭園デザイナーを志すようになった物語をお話しされました。

石原さんが二十歳の頃、バイク（2輪）のレースに夢中で、プロを目指すか悩んでいたそうです。しかし、バイクでは世界まではいくことは難しいと感じ、大学で勉強することを決めたそうです。

そのような中で生け花と出会い、その美しさと奥深さに魅了され、花や緑に関する職業に就くことを決められました。

最初は、路上販売の店から出発し、順調にいかかと思えた矢先に、水害で店舗が流されるなど、大きな危機も何度かあったそうです。

その後、生花から庭師へと仕事の幅を広げ、テレビ出演、そしてイギリスでの庭園作りへの挑戦などを経て現在に至るそうです。イギリスで権威ある庭園のコンテストで、最高賞を獲得されています。インターネットで検索すると、「**英国王室も認めた庭園デザイナー・石原和幸 氏**」というワード

も出てきます！

石原さんの講演の中で、「**人は、何にでも、いつからでも挑戦できる！**」という力強いメッセージを、会場の約1000人の若者に届けられたのが印象的でした。また、長崎市で造り続けられている三原庭園を、世界中の人が憧れ、訪ねたくなるような庭園にしたいと、熱く語っていました。スペインにある教会、「サグラダ・ファミリア」と並ぶような庭園にすることが目標だそうです。とても、今年で68歳になられるとは思えない、パワフルさに圧倒されました。

いくつになっても、夢を追い続ける石原さんとの素晴らしい出会いに感謝したいと思います。私たちも石原さんに負けないよう、頑張りましょう！！！



サグラダ・ファミリア（スペイン）

## ○ 外トイレについてのお知らせ

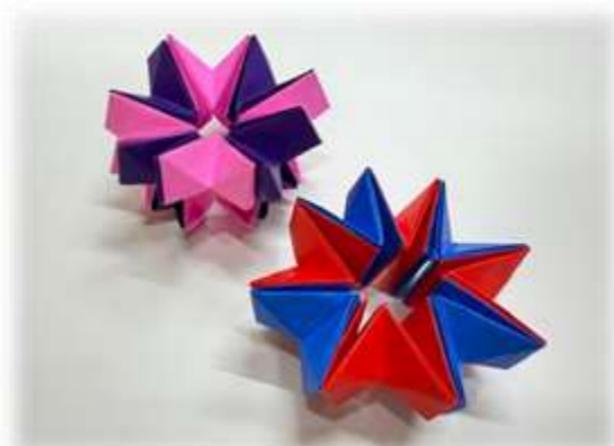
現在、A棟（グラウンド側）のトイレの改修工事を行っています。2月中には工事が完了する予定です。それに伴い、外トイレも利用できなくなっています。写真のように、仮設トイレを設置しています。男子用、女子用で分けていますので、確認のうえご利用ください。主に、放課後、土日の部活動での利用が中心となりますので、次の人のことを考えて、マナーを守ってきれいに使ってほしいと思います。



## ○ 今日の給食（1月14日）



14日（水）の給食は、**豚汁**、**竜田揚げ**、**ひじき**いためでした。昨日の洋風メニューから、冬の和風メニューの定番です。豚汁は、とにかく具沢山で、栄養満点でした！また、食缶の上の方まで一杯に入っていたので、ボリュームも満点の豚汁でした。また、竜田揚げは生徒たちの大好きなメニューなので、笑顔で食べている姿が印象的でした。やはり、鶏肉のからあげ系のメニューは大人気です。ひじきも栄養たっぷりで、とてもバランスの取れたメニューでした。



生徒の作品です⇒